

安全設計

安全設計 あんぜんせっけい

原子炉施設の安全を確保するため、原子炉施設全般、炉心、原子炉停止系、冷却系、原子炉格納容器、安全保護系等の設計に対して、基本的かつ一般的な要求事項を基本方針として設定し、これに基づいて施設の安全設計および安全評価を行う。安全設計は、国が定めた基準あるいは指針等によりその妥当性が確認される。国の基準として代表的なものに「発電用軽水型原子炉施設に関する安全設計審査指針」がある。また、立地、耐震、火災等に対してもより詳細な指針が設けられている。

<登録年月>

1998年01月
